



天守閣再建工事中



再建工事を見学する子供たち

石原 大きな戦はなくても、やはり、城のもつ意味、日本全土を見据える和歌山城の意味があった。それに、築城の名手といわれた藤堂高虎の最初に手掛けた城だということでも、城ファンにとっては、放っておけないですよ。

市長 和歌山城からはいろいろな時代背景が感じられると思うので、お城ファンはもちろん、多くの人に訪れてもらいたいですね。



「南海之鎖」の印面をもつ金印

市長 その通りだと思います。それで、徳川の初代藩主の頼宣公が、「南海の鎖」としてこの西国を治めようとしたんです。

新春対談

城が輝き、歴史が薫るまち「和歌山市」

「和歌山城天守閣再建60周年」を迎えるにあたり、芸能界きってのお城好きである石原良純氏とともに、和歌山城や和歌の浦の魅力、和歌山市の未来について語りました。



石原良純 × 尾花正啓

対談は1月1日 11時～（再放送1月3日 17時～）テレビ和歌山で放送します。

城下町の魅力

石原 和歌山市には35年前に来たことがあるんです。友達3人と東京から車で。そのときも、もちろん、まずは和歌山城に行きました。今日もお城に行ってきました。僕は、まちの一番高いところに登ると、そのまちを一番よく知ることができると思うので、二気に天守閣を上ってきました。

市長 35年ぶりの和歌山城はどうでしたか。

石原 いやー、天守閣は最高ですね。和歌山市を一望できるし、前に来た時と変わらずに景色は最高でした。やはり、お城のあるまちはいいですね。

市長 そうでしょう！和歌山城は和歌山市のシンボルですからね。



語り部の解説を聞きながら城内を散策する石原氏



お城に行くと、ガイドブックにも載っていないような一番良い画を探すのが楽しみだという石原氏。インスタ用の写真を自撮り。

石原 城下町が羨ましいと思うのは、ぼつと見た時に、いつも天守閣が見えるじゃないですか。何か見守られている安心感。お城があるから、僕らの暮らしは大丈夫だ、というような。

市長 ほんとにそうなんです。やっぱり長年に渡ってお城があるということが、市民にとって「心の拠り所」になっていると思いますね。

石原 それに、石垣もそうなのですが、そこには歴史がある。まず豊臣時代があって、それから浅野氏が入ってきた。ここがすごく重要な時期で、1600年の関ヶ原の戦いから1615年の大坂夏の陣までの間というのは、歴史的に大きな戦はないけれど、水面下では駆け引きがされている。もしかしたら、浅野氏が裏切るかもしれない、というのがあったりして。徳川は、いつか西国が反乱を起こすのが怖かったと思う。

石原 60周年ですか。それは市民の悲願。良かったですね。やはり、城が元に戻るまでがんばろうという、心の拠り所になる。僕は九州にもよく行くのですが、熊本城も地震の被害をすごく被った。すると、熊本のお年寄りの方が「熊本城が再建されるまで、元に戻るまでががんばろう」と。まちの人の気持ちが一つになるっていうのは、僕も絶対にあると思いますね。

和歌山城の魅力向上への取組

石原 僕もいろいろな城のあるまちに行くのですが、今は自分のまちの城の価値に気がついて、整備が進んでいますね。和歌山城も今後整備されるのですか。

市長 そうですね。二之丸には、かつて大奥があったんです。その大奥を再建できたらと思っています。そうですね、日本の城で唯一大奥があるお城になるんですよ。また、もともと西之丸は風情を楽しむようなところで芸術文化の拠点だったので、紅葉が綺麗な紅葉溪の近くに、能舞台があったんです。この能舞台も復元していきたいと思っています。こう



二之丸の大奥再現図



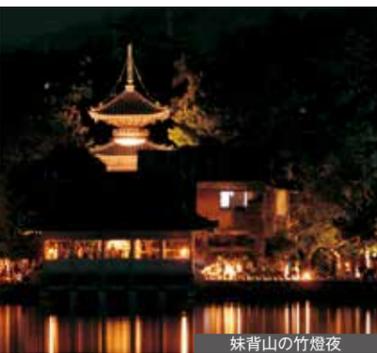
西之丸の能舞台再現図



石原 良純

Ishihara Ryoichi

1962年、神奈川県生まれ。慶應義塾大学卒業。俳優として、舞台・映画・ドラマなどに出演。また気象予報士としても活躍。日本の四季、気象だけではなく、地球の自然環境問題にも力を入れている。芸能界きっての多趣味、大のお城好きとしても有名。



妹背山の竹燈夜



雑賀崎での草刈り活動



水軒堤防での松を植える活動

絶景の宝庫 和歌の浦 日本遺産認定

市長 和歌山市には、和歌山城以外にも誇れる場所がたくさんあるんです。昨年は「絶景の宝庫 和歌の浦」ということで、和歌の浦周辺の景色が日本遺産に認定されました。和歌の浦の歴史的な景観は、1300年前から美しいと万葉集に詠われているんです。東京にも、和歌の浦の美しい景色をモデルに築造した、六義園という庭園があるんですよ。**石原** あの桜の名所で有名な六義園ですか。何度か行きましたが、和歌の浦がモデルになっていたとは知らなかったです。**市長** ほかに紀州東照宮という非常に景色も建物も綺麗なところがあった。その地域では1622年から始まった和歌祭という伝統的な祭りが開催されて



和歌祭

いて、あと4年後が始まって40年にあたるので、和歌祭をもっと盛り上げていきたいですね。日本遺産として、和歌山市の魅力のひとつである歴史や文化の素晴らしさを認められたので、東照宮や和歌の浦の景色などを海外にもっとPRしていければと思います。**石原** それはどんどんPRしていったら良いと思います。東照宮など歴史ある美しいものは、目を奪われる。外国の方にもすごく喜ばれると思います。

市長 本当にありがたいのが、市民の方が色んな活動をしてきていることです。秋に開催されている妹背山での竹燈夜では市民の方が、竹の筒にろうそくを並べてくれて、多宝塔をライトアップしてくれています。また、雑賀崎には、実はお台場があって、その辺りの草刈りを地域の方がずっと続けてくれているんです。さらに江戸時代に築かれた津波などから守る水軒堤防に、白砂青松を取り戻そうと、地域の方が松を植える活動を行ってくれています。こういった市民の手で、昔の良かったもの、あの風景や歴史を取り戻そうと活動をしていただいているのが非常にありがたい。こうした活動を通じて、和歌山市の魅力をどんどん上げていければと思います。

石原 歴史に色濃く、万葉の昔から彩られた和歌山市が、古いものは残されながら、今後もいろいろな新しい手が増えられ、まちとしての魅力がどんどんアップしていくのが楽しみです。僕もまた近い機会に訪れたいです。**市長** ぜひ来てください！
今年がちょうど「天守閣再建60周年」にあたります。本日に市民の方の心がひとつになって再建された城ですので、この60周年を契機にさらに磨きをかけていき、市民の心の拠り所、そして和歌山市の誇りとなるような城にしていきたいです。それによって和歌山市が、「城が輝き、歴史が薫るまち」になればと思っています。皆さん、今年もよろしくお願いいたします。

平成30年 年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、健康で、希望に満ちた初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平成30年の年頭にあたり、市議会を代表しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本市は今、第二阪和国道の全線開通等幹線道路の整備や、和歌の浦の日本遺産認定など、多

くの方々や先人の努力が実を結び、大きく飛躍することができ、絶好の機会を迎えており、この機会を逃すことなく、深い感謝をもって、さらなる市政の推進に取り組んでいかなければなりません。

市議会としましては、本会議のインターネット中継や、市議会だよりのリニューアルといった積極的な広報活動をはじめ、

市民に開かれた市議会を目指した取組を進めているところです。

今後とも、本市の抱える課題解決に向け、市民の皆様からのお声を十分にお聴きし、住民福祉の向上と、安心、安全なまちづくりを、市議会一丸となつて取り組んで参りたいと存じます。結びに、市民の皆様におかれましては、本年が幸多き年とな

あけましておめでとうございます。今年は、市民図書館が移転する和歌山市駅の公益施設棟の着工や、雄湊小学校跡地での東京医療保健大学和歌山看護学部の開学など、今までに蒔いた種が成長し、実り始める年です。そして、市民の皆さまからの寄附により再建された和歌山城天守閣が60周年を迎える記念すべき年になります。和歌山城に

かける先人の思いを胸に、お城とその周辺の賑わい創出に取り組むとともに、絶景の宝庫として日本遺産に認定された和歌の浦や青少年国際交流センターが完成する加太など、地域の魅力を磨き上げ、国内外から人を呼び込める都市にしていきたいと考えています。

また、待機児童ゼロなど保育環境の充実、健康体操など高齢者の健康長寿、防災対策に必要な

となるインフラ整備等をさらに加速させることで、誰もが安心・安全に暮らし続けていただけるまちづくりに取り組めます。

和歌山市には、地元の子供や支援が必要な方のために、また本市を活性化させるために、各地で熱心に活動をおこなっている方々がたくさんいらっしゃいます。今年も皆さまと一緒に、「きらり輝く元氣和歌山市」の実現に向けて邁進していく所存です。

最後になりましたが、本年が市民の皆さまにとって、素晴らしい年となることをお祈りいたします。

和歌山市長
尾花 正啓



りますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

和歌山市議会議長
古川 祐典

